

## 持続可能なまちづくりの方向性

上位計画である「第6次下妻市総合計画（平成30年3月策定予定）」の市が目指す将来像を前提としながら、これまで見てきた市の現況課題を踏まえ、まちづくりの方向性を下記のとおり検討します。

### 拠点性強化による若者も高齢者も集まれる街の顔づくり

- ・砂沼地区の都市再生整備計画事業や街なかの既存公共施設等を活かした街なか交流人口の確保
- ・市役所周辺や街なかへの都市機能誘導による拠点性強化
- ・各施設間と駅を結ぶ歩いて楽しい健康増進にも資する歩行者ネットワークの構築

### 観光客や地域住民の交流の場となる居場所づくり

- ・商店街や既存公共施設を利用した、街なかのにぎわいや人々の居場所づくりにつながる多世代・多様な人が集う街なか型プレイスメイキングの推進
  - ・文化施設等の既存ストックや空き家・空き地等を活用した、地域コミュニティの活性化や健康づくりにつながる郊外型プレイスメイキングの推進
- ※1人1人の居心地が良い場づくり、その手法

### 街なかに人を呼び込むコミュニティ交通の充実

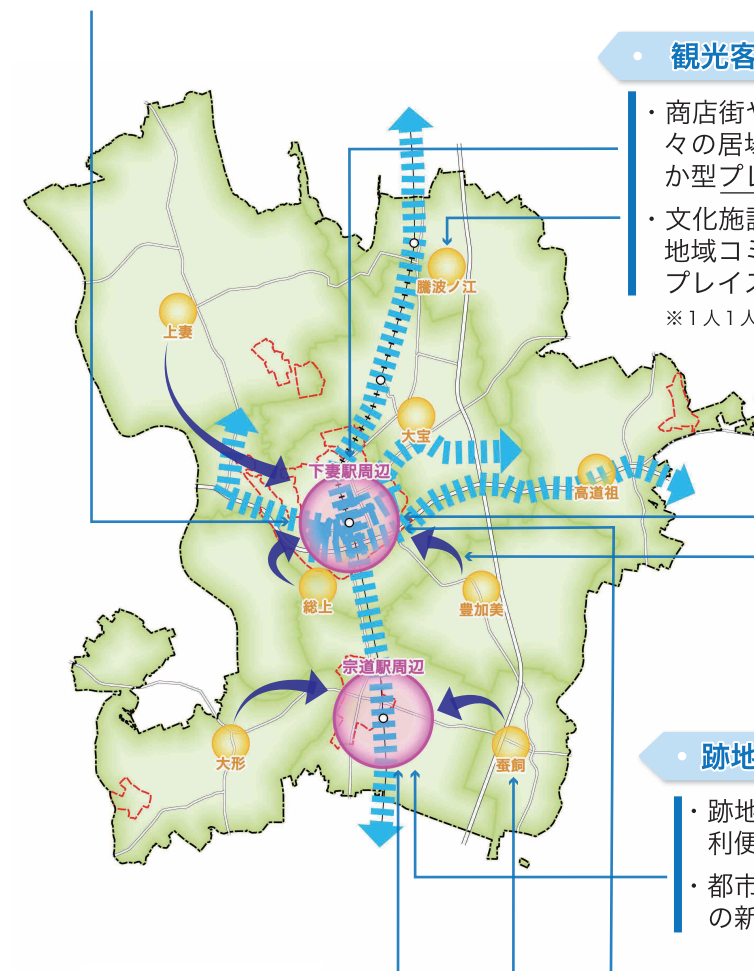
- ・周辺自治体との広域連携による鉄道や路線バスのサービス維持
- ・街なかの公共施設や観光施設を結ぶコミュニティバスの維持
- ・郊外集落の自動車利用等が困難な市民が街なかへ行くことができるアクセス手段の検討

### 跡地等の遊休地の活用による生活利便性の向上

- ・跡地等の遊休地を活用した都市機能誘導による生活利便性の向上
- ・都市機能誘導と合わせた人口の定着と子育て世代等の新規流入人口の確保

### 地域特性に応じた街なか居住・郊外居住の環境づくり

- ・公共交通や都市機能等が集積する利便性の高い街なかでの流入人口の受け皿確保
- ・子育て世代に居住地として選択される、子どもが安心して過ごせる環境づくり
- ・郊外集落において、集落内の身近な場所で最低限の日常生活サービスを受容できる住環境形成



凡例

用途地域	下妻駅周辺拠点・宗道駅周辺拠点 (都市計画マスタープランの総合拠点 ・生活拠点・地域生活拠点)
地域生活拠点 (上記以外の地域の地域生活拠点)	公共交通路線
その他の交通	

## 今後の取り組み

今後、市は「下妻市立地適正化計画」の平成30年度策定を目指し、都市機能誘導区域や居住誘導区域等の検討を進め、パブリックコメントなどにより、市民の皆さまのご意見を伺いながら作業を行います。

また、今年度の取り組みとして、下記のとおりパネル展示を実施します。ぜひご覧ください。

- ・11月29日(水)～12月11日(月) 市役所千代川庁舎 1階 ロビー
- ・12月12日(火)～12月25日(月) 市役所本庁舎 1階 市民ホール
- ・市ホームページでパネル展の内容を公開しています。

# 平成29年秋の栄典 受章おめでとうございます

平成29年秋の叙勲において、下妻市から瑞宝小綬章に1人、旭日双光章に1人、瑞宝単光章に1人、緑綬褒章1団体計3人1団体が栄誉に輝きました。受章おめでとうございます。

### 瑞宝小綬章

のほろ  
高橋 昇さん

元下妻第一高等学校長  
元八千代町教育委員会教育長  
(75歳・南原)



昭和42年4月下妻第一高等学校の教諭として赴任されて以来、県内高校および茨城県教育センター、茨城県教育委員会教育庁指導課に勤務。平成6年4月から茨城県教育センター教科教育第二課長を経て、鬼怒商業高等学校校長、古河第一高等学校校長、母校の下妻第一高等学校校長を務め平成15年3月に退職。平成15年12月19日からは、八千代町教育長に就任し、平成28年9月まで13年もの長きにわたり、義務教育諸学校の充実発展に寄与されました。「多くの皆さま方のご指導ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。」

### 旭日双光章

しょうへい  
横瀬 正平さん

元下妻市教育委員会委員長  
(77歳・小島)



昭和56年4月から下妻市教育委員会委員となり、平成6年1月に同教育委員会委員長に就任。平成17年12月の退任までの間、24年9カ月の永きにわたり、市の教育振興に多大な貢献をされました。また、広い視野と識見を有し、何事にも積極的・計画的に取り組んで、教育関係者のみならず地域の人々からの信頼も厚く、教育を始め、広く市制全般にわたり、その発展に寄与されました。「皆さま方の長年にわたる心温かいご指導ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。」

### 緑綬褒章

花と万人の会  
(環境美化奉仕団体)



鬼怒川河川敷の鬼怒フラワーラインにおいて、年間を通して花畑の管理活動や河川敷のごみ拾い、除草、河川利用者への河川愛護意識の啓発などに尽力され、「ちょっと素敵なおまちづくり」を合言葉に「花とふれあいまつり」を開催するなど、魅力的で潤いのあるまちづくりを目指した住民主体の活動に努めています。「この受章は、多年にわたる皆さま方のお導きとお力添えのおかげと深く感謝申し上げます。今後は、この栄誉に恥じることのないよう精進していきたいと思っております。」

### 瑞宝単光章

ひとみ  
小松崎 人己さん

元関東鉄道取手駅長  
(61歳・高道祖)



昭和50年5月に関東鉄道株式会社石下駅駅手として入社して以来、駅手、駅務掛、車掌、予備助役、助役として30年間勤務。平成17年5月に下館駅長に就任し、常総線運転司令室司令長兼乗務区助役、戸頭駅駅長を経て、平成26年6月から取手駅駅長を務めました。平成28年6月の退職まで41年1カ月の永年にわたり、鉄道従事員として勤務し、その間駅長として、輸送の使命達成や後輩の指導育成に尽力されました。「この度の受章は、たくさんの方々のご指導ご協力があったの受章と深く感謝申し上げます。」

有料広告欄